

2015年1月27日
株式会社みずほ銀行

オランダみずほ銀行 ウィーン支店開設認可の取得について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）の100%子会社であるオランダみずほ銀行が、オランダ王国およびオーストリア共和国金融当局宛に提出していたオーストリアのウィーン市における支店開設申請について、このたび現地金融当局より認可を取得しました。これを受け、2015年度上期中の支店開設を目指して具体的な準備作業を開始します。

ウィーンは西欧の最東部に位置するオーストリアの首都であると同時に、各国の多国籍企業がポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー等の中・東欧地域統括拠点を設置する中・東欧における金融・経済の中心的都市です。

また、中・東欧エリアは域内合計で人口1億3000万人、経済規模（GDP）約2兆4000億ドルの一大経済圏であり、西欧諸国を中心とする海外からの直接投資を原動力として経済成長を続けています。特に世界の自動車メーカーからの投資が集中しており、中・東欧市場のみならず、世界の市場を見据えた生産・輸出拠点として生産能力の強化が進められており、今後も製造業を中心とした経済成長が見込まれています。

当行は、これまで、オランダみずほ銀行による銀行サービスの提供、業務提携先のライフアイゼン銀行グループとの連携、ポーランド投資促進機関との業務協力協定等を通じて、在中・東欧のお客さまの事業展開をサポートしてきました。また、今年度は、新たにハンガリー、スロバキア、オーストリアの各投資促進機関と業務協力協定を締結しています。〈みずほ〉は、ウィーン支店の開設により、経済成長を続けている中・東欧エリアにおけるお客さまの進出・事業展開を、お客さまの近くで、従来以上に力強くサポートしていきます。

以上